

令和 6 年 7 月 31 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…地域密着型介護老人福祉施設 ゆうなぎホーム

サービス種類…地域密着型介護老人福祉施設

会議開催日…令和 6 年 7 月 31 日

開催場所…ゆうなぎホーム交流ホール

出席者

事業所	5 人	利用者	人
利用者家族	1 人	地域代表者	2 人
松江市職員	0 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	人	その他 ()	人

理事長挨拶

- ・に職員家族、利用者家族のコロナウィルス感染の報告が少しづつ増えてきている。どの施設もクラスターを経験しており気を抜かず予防に努めている。
- ホームの裏山の砂防ダムの工事も始まっている。いずれの災害発生時においても地域の皆様の力をお借りしないと対応はできないと考える。ご協力をお願いしたい。

議事

① 運営状況について（R6 年 7 月 1 日現在）

- ・入居者数 26 名（男性 2 名・女性 24 名）
- ・平均介護度 3.7
- ・平均年齢 90.7 歳（男性最高年齢 90 歳 女性最高年齢 102 歳）
- ・空室状況 3 室
- ・入退去状況 令和 6 年度の状況
入居 3 名 退居 2 名

② 事業所からのお知らせ

- ・ホームの風景
 - ドライブ
 - 七夕飾り
 - 花火大会
 - 非常災害対策訓練（断水）
 - 自然災害対策研修
 - えびすだいこくマラソン

③ サービス運営に関する意見・要望について

<利用者家族>

- ・面会について、直接会うことができるようになったのは良いが、人数をもう少し増やすことはできないか。遠方の家族が帰省した場合など合わせた気持ちがある

<施設>

- ・市内の病院等の対応の様子も見ながら対応している。2名ずつ数回に分けて面会していただくこともしている。大人数の場合は窓越しでの面会もお願いしている。現在周辺でのクラスターの話も聞いており、心配しているところである。

<地域>

- ・公民館にもいろいろな人が来る。5類となり制限を緩和したが最近見直し、検温、や消毒を再開している。施設としても家族の理解を頂くことは大変だと思う。弱い人を守ることを頑張してほしい。

<地域>

- ・災害時の避難場所は何処なのか

<施設>

- ・災害の状況にもよるが、大芦の施設も避難場所と考えるが、実際の避難となると入居者全員の避難は手段が難しいと考える。土砂災害については施設内で斜面と反対側への水平避難を行うこととしている。

<地域>

- ・入所定員 29 名に対して現在 26 名の入所。希望者が少なくなっているのか。

<施設>

- ・実際少なくなってきた。要介護 3 以上の申し込みは少ない。要介護 1、2 の特例入所も受け入れている。医療の重度な方の受け入れが難しい。町内の在宅の状況としても在宅介護は減ってきている。介護力の変化があり難しくなってきた

<地域>

- ・断水の訓練はどんなところが大変であったか。

<施設>

- ・実際にいきなり水が止まり、とりあえずの確保が大変であった。屋内の水道設備の故障であり、半日で終了したが、手洗い、トイレ、食事それぞれの対応を実際に行うことができ良かった。

<施設>

- ・厨房職員の高齢化が進み、職員の紹介をお願いしたい。合わせて、今後人

材不足の対応として外国人の採用を検討している。住居のこともあり地域の皆様にもまたご意見を聞かせていただきたい。

次回 令和6年9月25日14:00～予定

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	☐
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	☐